

どんぐい村の こみ・すく通信

令和7年11月10日発行 令和7年度 第15号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

更小5年・家庭科での授業支援

更別小学校5年生の家庭科の授業で、10月6日(月)と15日(水)の2回に渡って、地域の方々が授業支援に入ってくださいました。支援していただいたのは、「エプロンづくり」でのミシンやアイロンを使う作業でした。ベテランの支援者が多く、子どもたちとのコミュニケーションもスムーズに行われ、作業は順調に進みました。



上更小3・4年の 理科「昆虫の世界」

10月8日(水)に、上更別小学校3・4年生が、地域の「虫博士」である斎藤彦馬さんに来校していただき、理科で「昆虫の世界」の学習をしました。

3校時と4校時に行い、3校時には、斎藤さんから昆虫のいろいろな話をいただきました。「アリは、食べ物を必ず半分にして他の仲間に分けてあげる習性があるよ」等、子ども達が興味を抱くような話をたくさん聞くことができました。

4校時には、外に出て、秋の虫を観察しました。網でチョウチョを捕まえたり樹木の根元にいる虫を探したりしました。



更中でクマ出没時の避難訓練

10月10日(金)には、更別中央中学校で、全国的に多発している「クマ出没」時に備えて、校庭にクマが出没したことを想定した避難訓練が行われました。訓練では、生徒たちはきびきびと行動し避難することができました。訓練の後には、地元獣友会の鈴木直寿さんから、「クマとの遭遇に備えて」と題した講話をしていただきました。各種のデータを使った、説得力のある話に、生徒たちは聞き入っていました。



毎年恒例となっているこの取組は、細かな作業を個別に支援してもらえるので、小学校にとってとても心強いものとなっています。子ども達は、「ここを持つとやりやすいよ」「いいね、うまいね」「頑張ったね」等といった、支援者のアドバイスや励ましの言葉で、一層やる気を高めました。



7名の支援者の皆さんから、子ども達へ応援メッセージが送られました。改善センターの「CSコーナー」にも掲示しています。